

若山牧水
没後95年
記念公演

短歌 音楽 トークが織りなす牧水の物語

いとしの牧水

出演

伊藤一彦 トーク&朗読
中村佳文 トーク&朗読
関知子 司会&朗読

和田恵 作曲&ピアノ
土田浩 チェロ
啼鵬 バンドネオン&編曲

金庸太 ギター
外山友紀子 フルート



2023年
7月22日(土)
13:30開場 14:00開演
会場:野口遵記念館
入場料: 一般 2,000円
学生 1,000円

* 未就学のお子様の入場はご遠慮ください

〈チケット取り扱い〉

野口遵記念館 延岡総合文化センター
TSUTAYA岡富店 西村楽器延岡店
延岡市役所売店 門川町総合文化会館
日向市文化交流センター
メディキット県民文化センターチケットセンター

〈お問合せ〉

野口遵記念館 (公財)のべおか文化事業団
TEL.0982-31-3337 (9:00~18:30/水曜休館)

JAPAN
LIVE YELL
project



文化庁

宮崎アートプロジェクト2023

主催: JLYp みやざき、いとしの牧水実行委員会、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
後援: 日向若山牧水顕彰会、夕刊デイリー新聞社、ケーブルメディアワイワイ、FMのべおか、宮崎日日新聞社
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))、独立行政法人日本芸術文化振興会
事業名: JAPAN LIVE YELL project 【いとしの牧水実行委員会】延岡市、「若山牧水」延岡顕彰会、グループうみやま、公益財団法人のべおか文化事業団

Profile

若山 牧水 (わかやま ぼくすい)

1885(明治18)年、宮崎県日向市東郷町坪谷生まれ。延岡中学(今の延岡高校)時代より短歌を書き始める。早稲田大学に進学し北原白秋と親友になる。歌集『別離』で国民的歌人となる。生涯にわたって自然と旅と酒を愛し、「あくがれ」の歌人と言われる。



伊藤 一彦 (いとう かずひこ) トーク&朗読

1943年、宮崎市生まれ。早稲田時代に作歌を始める。歌集『海号の歌』で読売文学賞、『新月の蜜』で寺山修司短歌賞、『微笑の空』で逍遙賞、『土と人と星』並びに評論『若山牧水—その親和力を読む』で現代短歌大賞と毎日芸術賞、短歌オペラ『若山牧水 海の声山の声』の脚本執筆・上演、井上靖記念文化賞他を受賞。最新歌集に『言霊の風』。若山牧水記念文学館館長。



中村 佳文 (なかむら よしふみ) トーク&朗読

宮崎大学教育学部教授。1964年(昭39)東京田端生まれ。早稲田大学大学院博士後期課程修了。2009年博士(学術)取得。2013年より准教授、18年より現職。専門は古代和歌の和漢比較文学的研究・近現代短歌・若山牧水研究・音声表現。著書『日本の恋歌とクリスマス—短歌とJ-pop』(新典社選書108・2021年12月)、近刊『牧水の聲』(鉱脈社)など多数。



関 知子 (せき ともこ) 司会&朗読

MRT宮崎放送にアナウンサーとして入社。報道・情報番組・ナレーションなど担当。「第55回全国植樹祭」など式典司会も数多く務める。朗読では、ラジオ番組制作やステージプロデュース。アノンシスト賞テレビCM部門並びにラジオ読みナレーション部門全国最優秀賞など受賞。牧水関連では「青の国ラジオ紀行〜俵万智×伊藤一彦 牧水忌によせて〜」など制作。(株)デンサン取締役。宮崎県男女共同参画センター運営評価委員。和歌山県出身。



和田 恵 (わだ めぐみ) 作曲&ピアノ

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。2000年、'13年に個展を開催。長編アニメ映画「ピアノの森」(松竹'07)、ミュージカル「あらしのよるに」(青山劇場)などの制作に参加。作・編曲活動を精力的に行なう一方、子どもの創造性、個性を育むことを目的としたテキスト制作、レッスン、コンサートの企画演奏に携わる。あたらしい芸術空間を模索する作曲家グループ New Sound Scape'96 ~メンバー。https://nss96.com



土田 浩 (つちだ ひろし) チェロ

1983年東京音楽大学卒業。チェロを三木敬之、荻田雅治に師事する。卒業後、チェロ奏者として東京シティフィル、九州交響楽団等の客員の他、数多くのコンサートに出演、また指揮者としても県内外で幅広く活動。現在、平成音楽大学講師、宮崎ジュニアオーケストラ音楽監督、みやざきチェロ協会会長、宮崎県オペラ協会専属指揮者、(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟理事・青少年オーケストラ委員会委員長。



啼鵬 (ていほう) バンドネオン&編曲

東京芸術大学附属高校を経て同大学作曲科卒業。大学在学中からプロ活動を開始。独習したバンドネオンをはじめ、鍵盤楽器、管楽器、弦楽器とマルチ・プレイヤーとして幅広い守備範囲をもつ。またプレイヤーの視点から創り出される作・編曲作品は、オーケストラから室内楽、ソロ、吹奏楽に至るまで、コンサート・ステージ、録音、出版等の現場で多くの支持を得ている。多くの楽器の演奏と作・編曲を両立する、希有なマルチ・ミュージシャン。



金 庸太 (きむ よんて) ギター

パリ・エコールノルマル音楽院ギター科の演奏家ディプロマを審査員全員一致の首席で取得。ソロCD「ヴァリエ2」と「ギタロマニーの凱旋」はレコード芸術誌にて特選盤に選ばれる。ソロ、アンサンブルのコンサート、ラジオや映画音楽の録音参加、ギターフェスティバルの企画運営など幅広く活動中。後進の指導にも定評があり、数々のコンクールで入賞者を輩出、優秀なギタリストを育成している。

©満田 聡



外山 友紀子 (とやま ゆきこ) フルート&企画プロデュース

東京芸術大学卒業。同大学院修了。サロンコンサートやファミリーコンサート、ジャズや文学とのコラボなど、演奏会企画も数多く手掛ける。2019年から3年間、宮崎日日新聞社文化コラム「経糸×緯糸」で執筆。バンドネオンの啼鵬、ギターのキム・ヨンテとのトリオ「ピエント・デル・スール」メンバー。フルートアンサンブル楽〜らっく〜代表として、プロ、アマチュアのメンバーと共に音楽普及活動を精力的に行なっている。